

所管課		教育推進部学校教育課															
施策の大綱	まちづくりの目標(章)			施策分野(節)			施 策										
	第3章 元気創造都市			03 学校教育			03 児童・生徒の心の居場所をつくる										
事業：人権教育推進事業													整理番号	0549			
目的	人と人のつながりを豊かにし、一人ひとりの存在と可能性を大切にする社会の基礎をつくる。																
目標	①人を大切にする(いじめや差別を許さない)人権感覚の豊かな子どもの育成、②人権感覚を推進する人材の育成。																
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)		1,502		コスト情報・評価	総コスト(千円)		2,798		総合評価	A	妥当性		A			
	財源内訳	一般財源		1,502		内訳	事業費		1,502			効率性		A			
		国府支出金		0			人件費		1,296			有効性		A			
		地方債		0			公債費		0			人と人のつながりを豊かにし、一人ひとりの存在と可能性を大切にする事ができた。					
		その他特定財源		0			一人あたり(円)		25								
							世帯あたり(円)		59								
	評価理由																
貢献度	施策に対する事業貢献度		A		根拠	いじめや差別を許さない仲間づくり・集団づくりが児童・生徒の心の居場所づくりの基礎となっている。											
今後の方向性	①教職員の研修を強化する。②子どもたちのつながりを豊かにする集団づくりを進める。																

事業 優先順位		1	細事業:人権教育推進事業				整理 番号		02			
目 的		児童・生徒の人権意識の高揚につながるよう、教職員の人権感覚を磨き高める。										
目 標		①人を大切にする(いじめや差別を許さない)人権感覚の豊かな子どもの育成、②人権感覚を推進する人材の育成。										
事業 実施主体		直 営	事業開始 年 度	昭和47年度	根拠 法令							
事業費・財 源	財 源 内 訳			平成25年度	平成24年度	比 較	コスト 情報・従 事職員数 参考			平成25年度	平成24年度	比 較
		事業費(決算額)(千円)		1,502	1,356	146		総コスト(千円)		2,798	3,102	-304
		一般財源		1,502	1,356	146		事業費		1,502	1,356	146
		国庫支出金		0	0	0		人件費		1,296	1,746	-450
		地方債		0	0	0		公債費		0	0	0
		その他特定財源		0	0	0		一人あたり(円)		25	27	-2
				0				世帯あたり(円)		59	66	-7
				0				職員数(人)		0.17	0.22	-0.05
								再任用職員数(人)		0.00	0.00	0.00
今 後 の 方 向 性		①教職員の研修を強化する。②子どもたちのつながりを豊かにする集団づくりを進める。										
評 価	妥当性	効率性	有効性	対象者	教職員及び児童・生徒							
	A	A	A									

事業：人権教育推進事業

市立各学校園において、人権を尊重し、部落差別をはじめとするすべての差別をしない、差別を許さない実践力と科学的認識を身につけた園児・児童・生徒を育成するため、全教育活動を通じて、積極的に人権教育を推進した。

また、教職員自らが人権尊重の精神に徹し、教育活動の中で人権教育を行うための研修会を実施した。

細事業：人権教育推進事業

1. 人権教育研究会助成事業

河内長野市人権教育研究会事業補助金 50,000円（人権教育活動冊子の作成）

2. 主催人権研修事業

研修会・実践交流会	回数	対 象 者	内 容
人権教育講座	1	幼・小・中教職員	「子どもとつながり、子どもをつなぐ集団づくり～」 講師 磯野 雅治 氏（関西大学）
中学校区人研	各2	各校人研部職員	中学校区別交流会の実践
夏季人権教育研究集会	1	幼・小・中教職員	【全体会】 「ありのままの自分で～この世の中に同じ人なんていない～」 講師 こうぶんこうぞう 氏（画家） 【分科会】 ・仲間づくりA（幼・小低・中学年） ・仲間づくりB（小学校高学年・中学校） ・河内長野未来塾小学校、河内長野未来塾中学校 ・人権・部落問題学習部会 ・平和と国際理解部会 ・進路・学力保障部会 ・共生教育部会 ・環境・福祉・地域教育コミュニティ部会
現地学習会	1	幼・小・中教職員	池田市立「山の家」
冬季部会別研究集会	1	幼・小・中教職員	夏季研と同じ9分科会に分かれて実践交流会を実施 各分科会で講師または助言者を招聘して実施